

## 過去の委員会における主な意見に対する対応方針(案)

令和 6年 5月 20日

## これまでの委員会における主な意見に対する対応方針(案)

| No. | 委員会         | 主な意見                                                                                             | 対応方針(案)                                                              | 第5回委員会資料<br>記載箇所             |
|-----|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 1   | 第2回<br>資料-4 | 今回整理した断面選定の考え方が適用できる構造条件等の範囲を事前に整理することで、条件変更が生じた場合でも、その安全性を評価できるようにしておくことが良い。                    | 構造条件の変更が生じた場合であっても断面選定の考えが適用できるように構造条件等の整理をしました。                     | 資料3-1 p. 4～11                |
| 2   | 第3回<br>資料-3 | 各作用に関する安全性検証は独立して実施しているため、ある対策が他の作用時に影響を及ぼすことがあるのではないかと。                                         | 各作用時で求めた対策が、その他の作用時に影響を及ぼす可能性はあるため、各作用の安全性を確保できるように整理をしながら検討を進めています。 | 資料3-1 p. 16                  |
| 3   | 第3回<br>資料-5 | 3次元縦断解析ですべりや構造的な非線形性を考慮することはかなり困難な検討となると考えられる。2期の事例なども参考に、適切な検討を行うのがよい。                          | ご指摘を踏まえて、解析を実行する前にその方針を整理し適切な3次元縦断解析を実施します。                          | 資料-3-1<br>p. 30～33, p. 56～59 |
| 4   | 第4回<br>資料-4 | 交通振動の照査において、周辺環境への影響についても確認されたい。                                                                 | 交通振動に伴う周辺環境への影響についてはほとんど発生しないことを確認しています。                             | 資料-3-1 p. 81                 |
| 5   | 第3回<br>資料-3 | 施工時における超過洪水に対する対応をどのように考えるのか？ 例えば、川裏に侵食防止シートを設置するなどの対応が有効と考える。                                   | 2期の対応状況なども踏まえつつ、安全に配慮した対応を実施します。                                     | —                            |
| 6   | 第4回<br>資料-4 | 浮き上がり照査の検討水位2の条件がどのような事象を想定しているのか、堤防高さとの関係も含めて確認されたい。                                            | 検討水位2は氾濫危険水位を想定しており、淀川堤防は一部が破堤した状況を想定しています。                          | —                            |
| 7   | 第2回<br>資料-3 | 圧密沈下の検討では、土—水連成2次元弾塑性解析による詳細な照査手法を提案しているが、1次元圧密解析のような簡便な照査手法を併用することで、結果に対して、大局的な視点で評価を加えていくのが良い。 | 縦断方向について2次元解析よりも詳細な地点で1次元圧密解析を実施し、各地点の概ねの沈下量の差について確認を行った。            | 資料3-2 p. 207                 |

## これまでの委員会における主な意見に対する対応方針(案)

| No. | 委員会         | 主な意見                                                                                | 対応方針(案)                                                                                                        | 備 考                                        |
|-----|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 8   | 第4回<br>資料-5 | 道路構造物周りの碎石による浸透対策工について、透水層が機能しているかを 確認することを 目的として、水位の確認を行うことが望ましい。                  | 道路構造物周りに計画している道路横断排水工や碎石置換工の碎石部について水位計配置図を作成し、適宜水位の確認を行います。                                                    | 資料-4 p. 11                                 |
| 9   | 第4回<br>資料-5 | 定量的評価の妥当性検証モニタリングにおける地震時の一体構造物の挙動について、解析の妥当性の検証は、大規模地震だけでなく中規模地震も対象に加える方向で検討されたい。   | ご指摘を踏まえて、「大阪北部地震程度以上の規模が大きな地震」を対象とする旨を記載し、中規模地震についても妥当性検証の対象とします。                                              | 資料-4 p. 14                                 |
| 10  | 第4回<br>資料-5 | 張芝、護岸、降雨浸透対策工などのモニタリング時期は豪雨後も実施することが望ましい。                                           | ご指摘を踏まえて、豪雨により影響のありそうな事項については、記載済みの②、⑤に加え、①張芝、護岸の状態、⑩函内の漏水、土砂流出の有無に追記しました。また、モニタリング一覧表にも非常時の実施時期に「豪雨後」を追記しました。 | 資料-4 p. 26の①<br>資料-4 p. 29の⑩<br>資料-4 p. 32 |
| 11  | 第4回<br>資料-5 | 維持管理モニタリングでは、初期状態をしっかりと記録することが重要である。また、完成後に向けて、BIM/CIM を活用した検討も取り入れていくのが良い。         | BIM/CIMの活用を促進し、モニタリングについても導入する方針です。                                                                            | 資料-4 p. 50                                 |
| 12  | 第4回<br>資料-4 | 2期と比較して急勾配となる今回の条件では、対策として堤内側を全て遮水シートで覆うと、遮水シート上面の覆土が滑る、併せて堤体の通気性についても適切に検討を行うのが良い。 | ご指摘を踏まえて、覆土の滑り及び堤体内の通気性について対策を検討します。                                                                           | 資料-4 p58～59                                |
| 13  | 第4回<br>資料-5 | 工事中におけるモニタリングも重要であり、淀川左岸線 2 期の知見も取り入れられたい。                                          | 淀川左岸線延伸部のモニタリング計画については、2 期の知見もフィードバックし、最新の知見でモニタリングを実施します。                                                     | —                                          |